

——食べ物の「もったいない」を「ありがとう」へ——

「幸手市フードドライブキャンペーン」を実施します！

11/
15・18
金 月

「フードドライブ」とは、各家庭で使いきれない未使用の食品を集め、集めた食品を必要とされる団体や個人へ寄贈する活動です。

市と社会福祉協議会では、市民のみなさんを対象にフードドライブキャンペーンを実施します。

日 時 11月15日(金)、18日(月)午前10時～午後3時
場 所 ウェルス幸手1階 ソーシャルクラブ交流コーナー
対象食品 賞味期限が2か月以上余裕があり、未開封で常温保存できるもの

- 例)○ 米、レトルト食品、インスタント食品、缶詰、調味料、菓子類、飲料(缶、ペットボトル)、菓子類、乾麺、乾物(ふりかけ、海苔)など
× 古米(収穫から2年が経過したもの)、生鮮食品、冷蔵・冷凍食品、アルコール、賞味期限不明品、開封品



※提供いただいた食品は、市内の子ども食堂活動団体などにお渡しする予定です。



◀フードドライブボックスを設置しています！

7月より、明治安田生命保険相互会社との包括的連携協定に基づき、フードドライブボックスを設置しています。市役所、ウェルス幸手、各公民館にて常設の回収ボックスを設置しています。

このボックスは、開庁日であればいつでもご協力を頂けますので、キャンペーン期間のご都合が合わない人は、ぜひこのボックスもご活用ください！

問合せ 環境課 ☎(48) 0331
こども家庭センター ☎(42) 8457
社会福祉協議会 ☎(43) 3277

ご協力よろしくお願いします！

健康・環境カレンダー広告募集(令和7年度)

掲載を希望する場合は、申込書と広告案を添え、10月25日(金)までにお申込みください。

掲載位置	カレンダー部分各月最下段(各月2枠)
掲載枠数	24枠(掲載希望月を明記してください)
規 格	縦2.5cm×横10cm～12cm(1枠あたり)
刷 色	2色
部 数	配布部数 約20,000部
掲載料金	20,000円(1枠あたり)

※申込書は市ホームページからダウンロードしてください。

※掲載枠数以上の申込みがあった場合は抽選になります。

※掲載基準に合わない場合は、掲載できませんので、事前に関係例規などをご確認ください。

問合せ 環境課 ☎(48) 0331・FAX(48) 2226

10月は「食品ロス」削減月間です！

食品ロスってなあに？

食品ロスとは、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品のことです。食品ロスは、日本で年間約472万トンと推計され、日本の人口1人当たり「茶碗約1杯分(103g)」が毎日捨てられている計算になります。みなさんは、まだ食べられるのに捨てられている食べ物がこんなにあることを知っていましたか？

食品ロスは、大部分が生ごみとして焼却処理されるためCO2排出や焼却後の灰の埋め立てなどによる環境負荷も考えられます。



食品ロス
日本で年間 472 万トン

1人1日 お茶碗1杯 が捨てられています



▼食品ロスを減らすには

○ご家庭編

- ①適切に保存する
 - 食品に記載された保存方法に従って、保存する
 - 一度に食べきれない野菜は、冷凍・乾燥などで下処理し、小分け保存などして食材を長持ちさせる工夫をする
- ②食材を上手に使いきる
 - 残っている食材から使いきる
 - 作り過ぎて残った料理は、リメイクレシピなどで工夫する
- ③食べきれる量を作る
 - 家族の体調や健康、予定も配慮し、食べきれる量を作る



○お買物編

- ①買物前に、食材をチェック
 - 無駄をなくすため、買物前に冷蔵庫や食品庫にある食材を整理、確認する
 - 冷蔵庫の中身をメモ書きや携帯、スマホで撮影し、買物時の参考にする
- ②必要な分だけ買う
 - まとめ買いを避け、使う分、食べられる量だけを買う
- ③期限表示を知って、賢く買う
 - 利用予定と照らし、期限表示を確認する
 - すぐ使う食品は、棚の手前から取る



▼生ごみを出すときは水切りを

食品ロスを減らす工夫をしても、生ごみをゼロにすることは難しいと思います。生ごみは焼却処理をします。水分を多く含んでいると燃えにくいので、燃料をより多く使用します。生ごみを燃やせるごみとして出すときは、よく水を切り水分を減らしましょう。

○水切りをすると…

- ・生ごみが腐敗しにくく、悪臭を軽減できる！
- ・ごみが軽くなるので、ゴミ収集車の運搬効率が良くなりCO2排出削減！
- ・焼却時に使用する燃料が減り、CO2排出量削減！

問合せ 環境課 ☎(48) 0331・FAX(48) 2226